

平成 30 年度第 5 回価格審査会の開催について

平成 30 年度第 5 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	平成 30 年 8 月 15 日(水) 10 : 00 ~ 11 : 30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 参与 技術本部 技師長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
	森田 義則	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリNZ・テクリスセンター長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：康広 誠己
	第一土木調査部	次長：柴尾 治
	第二土木調査部	部長：池原 一彦
	建築調査部	部長：加納 慎二
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：鈴木 昌樹、次長：古井戸 宏、課長：菊池 信博

平成 30 年度第 4 回価格審査会議事録(案) 確認

平成 30 年度第 5 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」9月号、「Web 建設物価」9月号の価格動向
・	価格が上昇した資材は、異形棒鋼（北海道、九州の各都市）、H形鋼（東北、関東、北陸の各都市）、一般構造用炭素鋼鋼管（札幌）、セメント（バラ）（水戸、宇都宮、前橋・高崎、長野）レディーミクストコンクリート（岩見沢、千歳、八戸、三戸、鹿島、袋井、鳥羽、姫路、洲本、豊岡、加古川、赤穂、養父、神河、福岡、大野城、宗像、糸島）、コンクリート用骨材（八代、竹田、豊後大野、玖珠）、コンクリート型枠用合板（北海道、近畿、四国、九州、沖縄）、普通合板（北海道、近畿の各都市）、燃料油【軽油ローリー渡し】（中国、四国の各都市）、鉄スクラップ【鉄】（北海道、近畿、中国、四国、九州、沖縄の各都市）などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、伸銅品（全都市）、レディーミクストコンクリート（新潟）、電気用裸導線（全都市）、鉄スクラップ【ステンレス】（関東、近畿、中国、四国の各都市）、非鉄スクラップ【銅】（全都市）などであることを説明。
2.	注目資材
・	レディーミクストコンクリート【新潟】
・	レディーミクストコンクリート【福岡】
3.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	生コン価格で、新潟地区が大幅に下落したのに対し福岡地区が急騰したのは、需要が多い少ないということが影響しているのか。	協組の共販体制では、協組内で各メーカーに出荷量が割り振られる。需要が少なくなると数量の割り振りに不満を持ったメーカーが協組を脱退することもある。新潟地区では有力組合員が協組を脱退したため市況が崩れ、福岡地区では有力員外社が協組に加盟したことにより市況が回復した。
審議 2	生コンの価格は東京 17 区が 13,200 円、大阪地区が 15,800 円といった価格水準である。今回、豊岡地区は 19,700 円まで上伸したが、地方の方が協組の販売力が強いのか。	豊岡地区の生コン年間出荷量は、約 7 万 m ³ で同地区には 4 工場があり、1 工場当たりの出荷量は 2 万 m ³ 弱と少ない。そのため販売価格を高くしないと事業を維持するのが難しいのではないかと。また、工場に限られるため地元ゼネコンは価格を受け入れざるを得ないという背景もある。
審議 3	ガソリンスタンドなどで表示しているガソリン価格と、建設物価に掲載しているガソリン価格は違うのか。	建設物価に掲載しているガソリン価格は、取引数量が月間 1 キロリットル程度である。ガソリンスタンドで表示している価格は一般ドライバー向けであり、建設物価に掲載している価格は事業者向けの価格である。
審議 4	メーカーの値上げが浸透して価格が上伸したという説明が多かったが、一般的にはどの程度の期間で値上げは浸透するのか。	2 カ月程度で値上げが浸透するときもあれば、1 年ほど掛かって浸透する場合もある。期間の長い短い、値上げの時期、需要動向、競合状態など様々な要因によって左右される。
審議 5	型枠用合板の原産国の原木不足は解消できない問題か。	地球環境の保全問題において、森林伐採の制限は重要な対策のひとつである。このため、原木不足はさらに進むという見方をしている。
審議結果	「建設物価」9月号、「Web 建設物価」9月号の価格動向について問題はなかった。	

以上